



金融商品のはなし



金融理論って何？

きんゆう りろん

なに

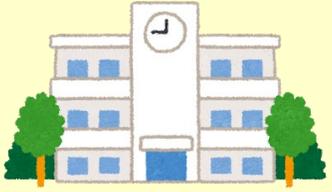
-金融取引で読み解く-

きんゆうとりひき

よ と

金融大学 有馬秀次





もくじ

1. 金融商品の取引

2. 金融経済学

3. 貨幣経済学



金融理論

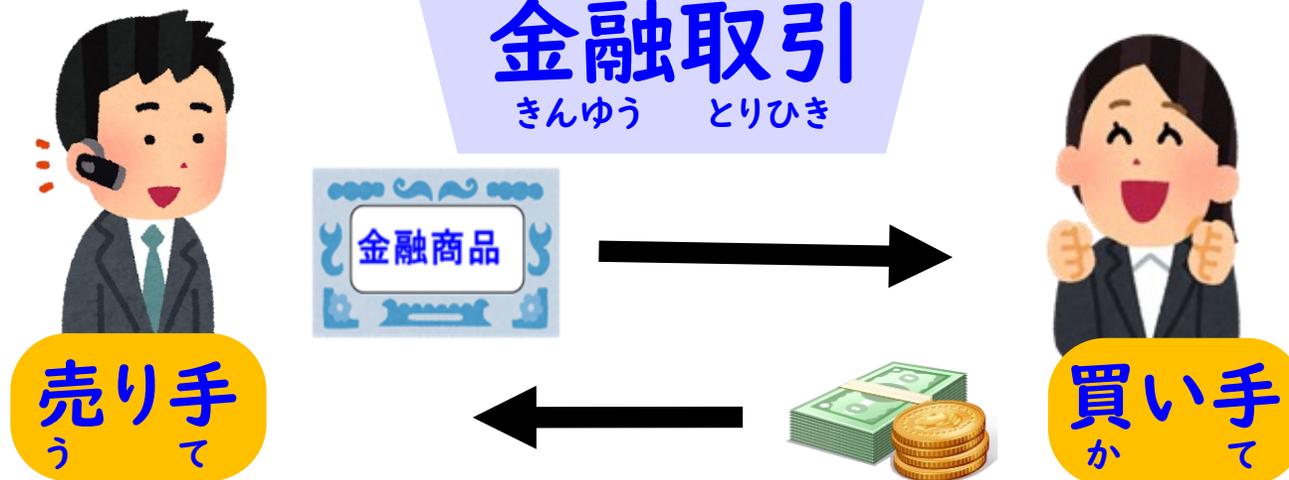
きんゆう りろん

取引成立

とりひきせいりつ

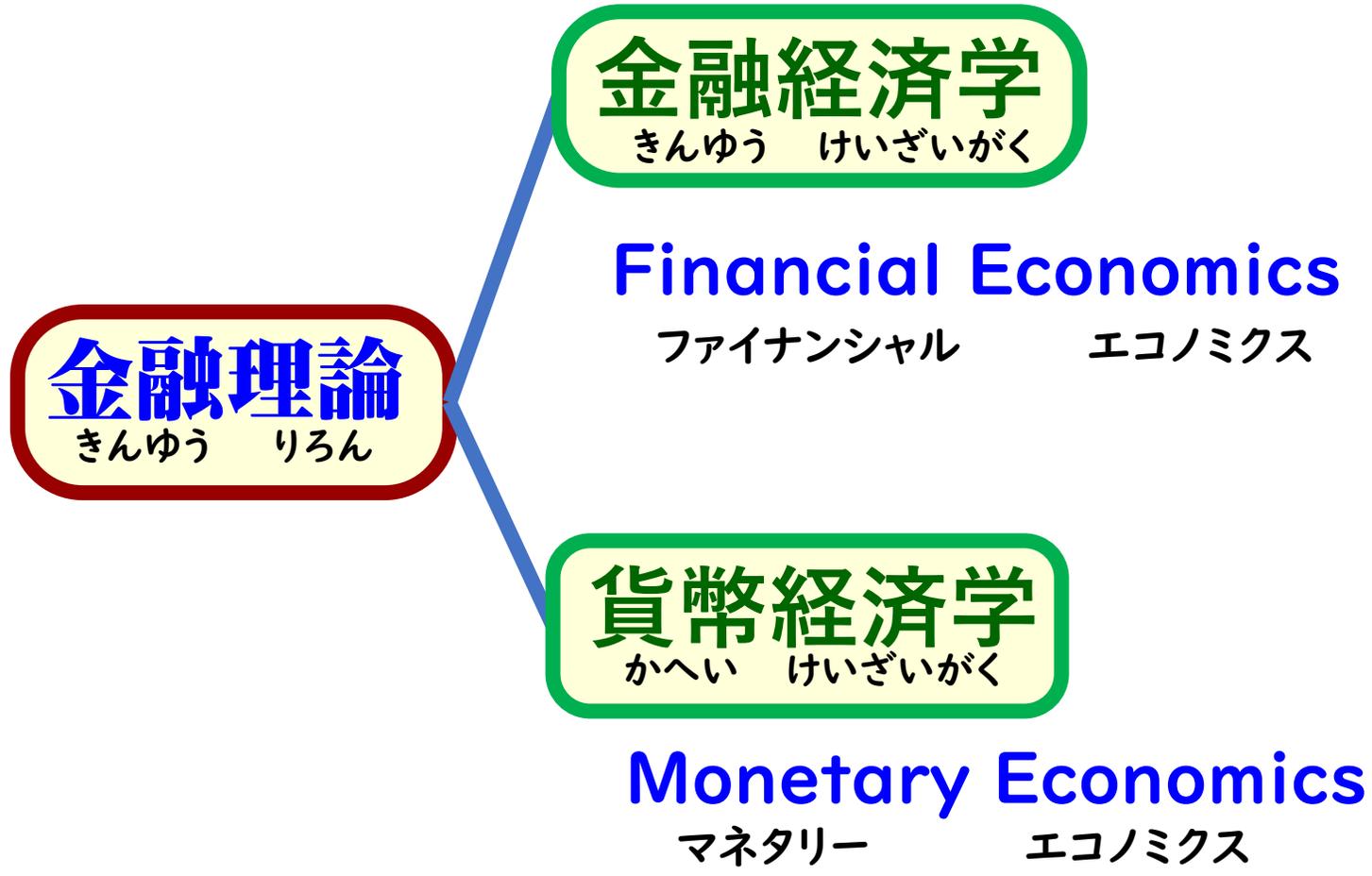
金融取引

きんゆう とりひき

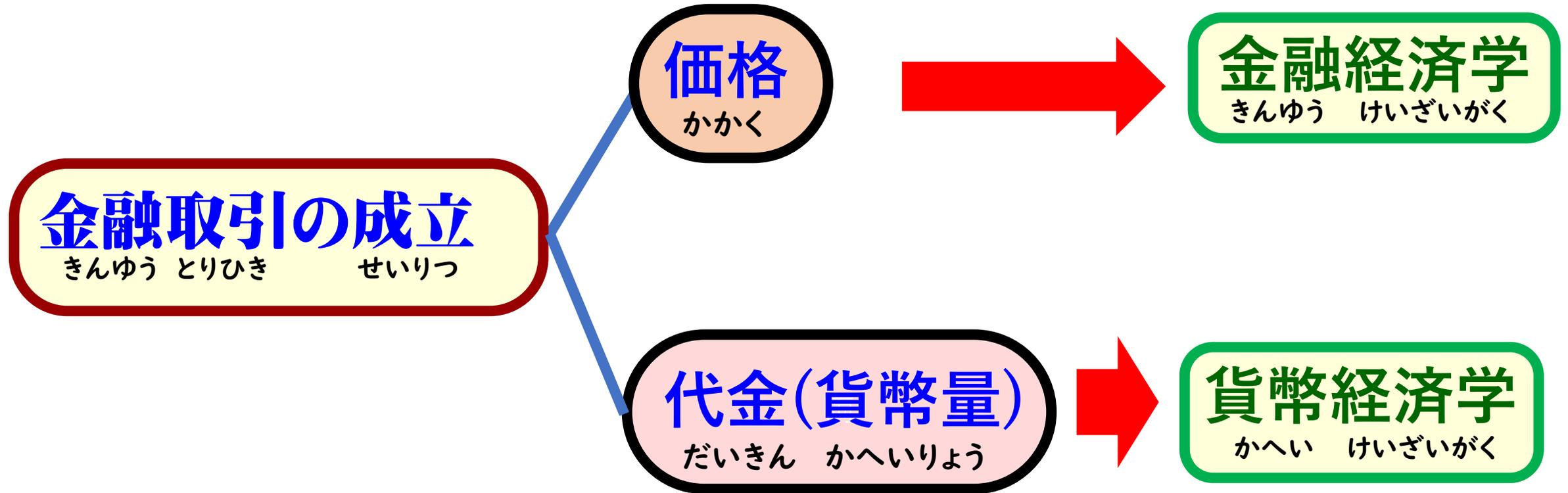


- 価格
かかく
- 貨幣量
かへいりょう

こんにちは、今日は金融理論についてお話しします。金融理論とは、金融取引に関する研究のことです。金融取引とは、金融商品を売買する取引のことです。金融商品と代金（貨幣）を交換することです。売り手は金融商品（紙片）を買い手に手渡し、一方、買い手は売り手に代金を支払います。



金融理論は、主に金融経済学と貨幣経済学の二つの分野に分けられます。金融経済学は、英語でファイナンシャル・エコノミクス、貨幣経済学は、マネタリー・エコノミクスといいます。



金融取引が行われると、金融商品の価格と代金（貨幣量）が決まります。金融経済学は各商品の価格に注目し、その価格形成のしくみを研究する学問です。一方、貨幣経済学は貨幣量に注目し、一国全体の貨幣供給量（マネーストック）について研究する学問です。

まず、金融経済学についてお話しします。



金融経済学の研究テーマ

金融商品のリスクとリターンの関係



最適な価格

金融経済学の主なテーマは、金融商品をリスクとリターンの関係で捉えることです。金融経済学は、将来の収益がどれだけ確実に受け取れるかを評価して、最適な価格を見極めようとする研究です。

金融経済学

家計の行動: 資産価値の最適化

① 現代ポートフォリオ理論

企業の行動: 企業価値の最適化

② コーポレート・ファイナンス理論

金融派生商品 (デリバティブ) の数理:

③ ブラック・ショールズモデル

金融経済学は、3つの分野に分けられます: ①家計の行動、②企業の行動、③金融派生商品 (デリバティブ) の数理です。

金融経済学

家計の行動: 資産価値の最適化

① 現代ポートフォリオ理論

企業の行動: 企業価値の最適化

② コーポレート・ファイナンス理論

金融派生商品 (デリバティブ) の数理:

③ ブラック・ショールズモデル

①の家計の行動とは、投資家が資産価値の最適化を目指して行う資産選びのことです。この分野の研究は、現代ポートフォリオ理論に代表されます。

金融経済学

家計の行動: 資産価値の最適化

① 現代ポートフォリオ理論

企業の行動: 企業価値の最適化

② コーポレート・ファイナンス理論

金融派生商品 (デリバティブ) の数理:

③ ブラック・ショールズモデル

②の企業の行動とは、企業価値の最適化を目的とした資金調達や資本構成などの意思決定のことです。この分野の研究は、コーポレートファイナンス理論によって代表されます。

金融経済学

家計の行動: 資産価値の最適化

① 現代ポートフォリオ理論

企業の行動: 企業価値の最適化

② コーポレート・ファイナンス理論

金融派生商品 (デリバティブ) の数理:

③ ブラック・ショールズモデル

③の金融派生商品 (デリバティブ) の数理とは、オプション価格の決定モデルのことです。先物やスワップ取引と違って、オプション取引はプラスのプレミアム価値を持ちます。この分野の研究は、ブラック・ショールズモデルに代表されます。

次に、貨幣経済学についてお話しします。



貨幣経済学の研究テーマ

適正な貨幣供給量（マネーストック）



最適な総取引量

さいてき

そうとりひきりょう

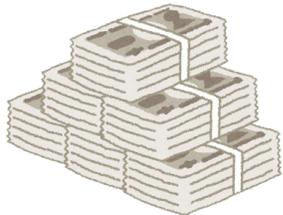
貨幣経済学の主なテーマは、貨幣供給量の適正な水準を見極めることです。この分野では、貨幣供給量が国内総生産（GDP）に対して必要かつ十分であるかを研究しています。

中央銀行の役割

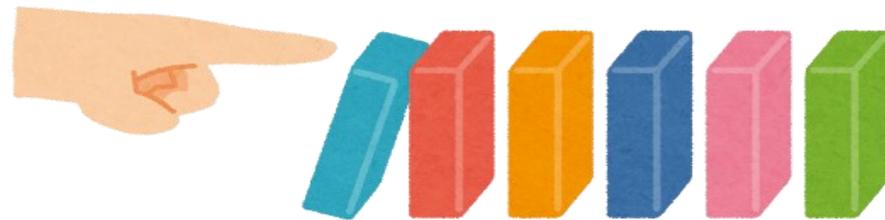
ちゅうおう ぎんこう やくわり



中央銀行
ちゅうおうぎんこう



貨幣供給量
かへいきょうきゅうりょう



中央銀行は、経済がデフレ（継続的な物価下落）やインフレ（継続的な物価上昇）に陥らないよう、貨幣供給量を調整する責任を負っています。

貨幣経済学の概要

かへい

けいざいがく

がいよう

(1) 貨幣の機能

かへい

きのう

(2) 貨幣供給量と市場経済の関係

かへいきょうきゅうりょう

しじょうけいざい

かんけい

(3) 今後の課題

こんご

かだい

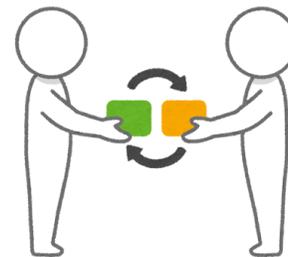
貨幣経済学の概要は、(1) 貨幣の機能、(2) 貨幣供給量と市場経済の関係、(3) 今後の課題というテーマでまとめられます。

貨幣の機能

かへい きのう

① 交換の手段

こうかん しゅだん



② 価値の尺度

かち しゃくど



③ 貯蔵手段

ちょぞう しゅだん



貨幣には三つの重要な機能があります：①交換の手段、②価値の尺度、③貯蔵手段です。①交換の手段：貨幣はモノやサービスの取引を円滑にする役割を果たすことです。②価値の尺度：貨幣は商品の価値を数値で示す基準となり、異なる商品の価値を比較できることです。③貯蔵手段：貨幣は価値を保存する手段として、将来の消費や投資のために資産として蓄えられることです。

貨幣供給とその経済への影響

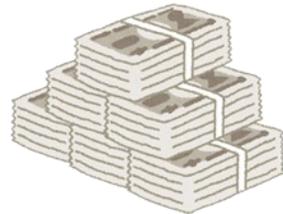
かへいきょうきゅう

けいざい

えいきょう

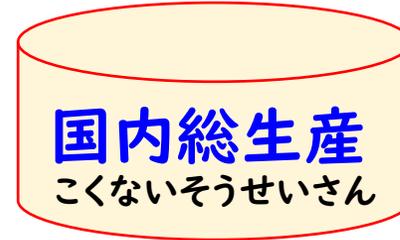


中央銀行
ちゅうおうぎんこう



貨幣供給量
かへいきょうきゅうりょう

増やすと
ふ



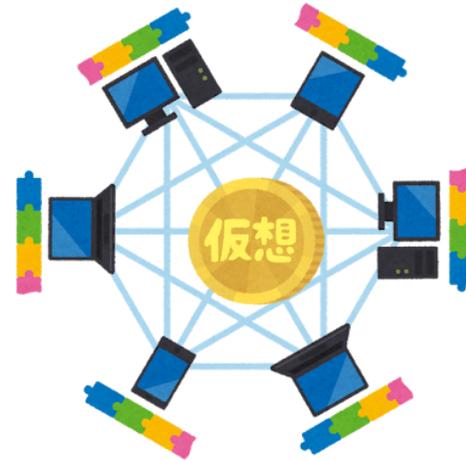
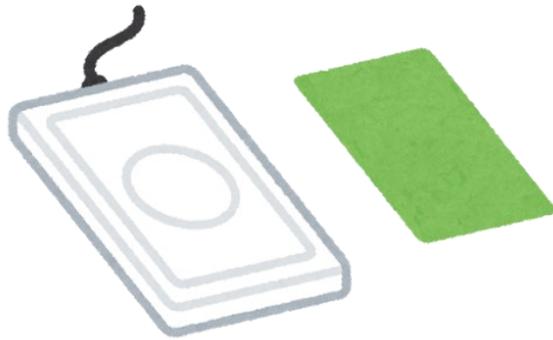
次に (2) の貨幣供給量と市場経済の関係について考えてみましょう。中央銀行は貨幣供給量を調整することで、国内総生産や物価に影響を与えます。例えば、経済が低迷している時に中央銀行が貨幣供給を増やして金利を下げると、投資が促進されます。逆に、インフレ（継続的な物価上昇）が高まると、貨幣供給を絞ることで物価の上昇を抑えられます。つまり、中央銀行の適切な政策は、経済の安定に大きく貢献します。

デジタル通貨や仮想通貨の登場

つうか

かそう つうか

とうじょう



最後に（3）の今後の課題についてです。デジタル通貨や仮想通貨の登場で、貨幣の流通速度が変わる可能性があります。デジタル通貨は政府や銀行が管理する電子マネーです。一方、仮想通貨はブロックチェーンという技術を使った新しいタイプのお金で、特定の管理者がいない分散型の電子マネーです。仮想通貨は投機目的で利用されることが多く、価格変動が大きいという特徴があります。そのため、政府による管理が難しい点が問題となります。

貨幣の流通速度

かへい

りゅうつうそくど

$$M \times V = P \times T$$

貨幣量

かへいりょう

流通速度

りゅうつうそくど

価格

かかく

取引量

とりひきりょう



昔は、Vは一定と
考えていたよ!

Mを増やすと、PかTの
どちらかが増えると
考えていたんだ!

貨幣の流通速度とは、一定期間内に貨幣がどれだけ取引に使われるかを示す指標です。この速度が高まると、同じ量の貨幣でより多くの取引（経済活動）が行われることとなります。

貨幣の流通速度

かへい

りゅうつうそくど

$$M \times V = P \times T$$

貨幣量

かへいりょう

流通速度

りゅうつうそくど

価格

かかく

取引量

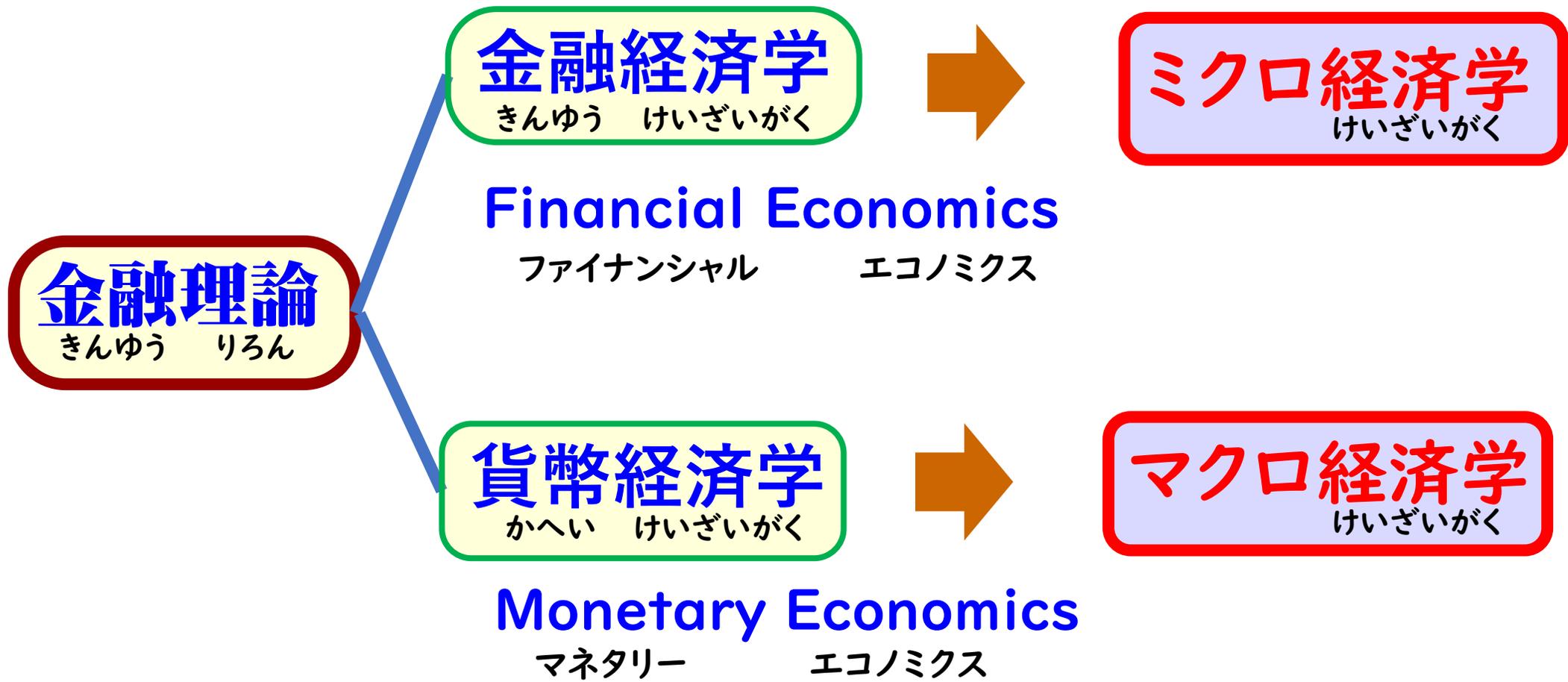
とりひきりょう



昔は、Vは一定と
考えていたよ!

Mを増やすと、PかTの
どちらかが増えると
考えていたんだ!

逆に、流通速度が低下すると、取引（経済活動）が停滞する可能性があります。仮想通貨のような電子マネーには、何らかの規制が必要になるかもしれません。しかし、これは金融の自由化の流れを止めることにもなりかねません。困った問題です。



ちなみに、個々の金融商品の価格形成を研究対象にする金融経済学は、ミクロ経済学に属します。これに対し、一国全体の貨幣供給量を研究対象にする貨幣経済学は、マクロ経済学に属します。

まとめ



1. 金融理論とは、金融商品を売買する取引に関する研究である。
2. 金融経済学は、金融商品の価格形成を研究する
ミクロ経済学の一部である。
3. 金融経済学は、現代ポートフォリオ理論、コーポレート・ファイナンス理論、
そして、ブラック・ショールズモデルなどの分野に分けられる。
4. 貨幣経済学は、一国全体の貨幣供給量（マネーストック）を研究する
マクロ経済学の一部である。
5. 中央銀行の貨幣供給量の調整は、国内総生産や物価に影響を与える。

ナレーション 有馬秀次

音楽効果 OtoLogic



では、また次回



制作 金融大学

